

## 今週（5月13日から5月17日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、16日(木)より新積み期に入る週となったが、週を通して引き続き資金調達サイドのニーズは強く、レートは高値圏が続いた。無担保コールO/N物加重平均レートは、13日(月)から16日(木)まで0.077%で変化無く、17日(金)も0.077~0.078%中心の出合いで推移した。

ターム物に関しては、1W~2Wが0.12~0.15%、1M~3Mが0.15~0.30%で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、週前半は552兆円程度での推移となったが、15日(水)に5年債発行を受けて550兆円程度まで減少し、その後は概ね横這い圏での推移となった。

### ●レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、概ね0.045~0.09%程度での推移となった。

SCIは、カレント銘柄近辺や、チーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが入札を経て水準調整された。

16日(木)に行われた1Y物の入札は、事前予想通りの無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。翌17日(金)に実施された3M物の入札は、やや強めの結果となり、セカンダリーマーケットでも堅調に推移した。

### ●CP市場

今週のCP発行市場は、鉄鋼、卸売、サービス等の業態で大型発行が見られた。

市場発行残高は、22兆円台後半から23兆円台前半での推移となっている。

発行レートは、0.1%以上で推移しているが、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

14日(火)にはCP等買入オペが事前予定通り3,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.154%、平均落札レート0.176%と、前回比(按分0.120%・平均0.154%)で按分、平均共に上昇した。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/13 (月)	38,179.46	0.935	155.92	0.077	0.079	5,519,600
5/14 (火)	38,356.06	0.958	156.38	0.077	0.080	5,528,000
5/15 (水)	38,385.73	0.950	156.42	0.077	0.076	5,505,100
5/16 (木)	38,920.26	0.920	154.00	0.077	0.043	5,502,100
5/17 (金)	38,787.38	0.945	155.47	0.077	0.081	5,498,000

## 来週（5月20日から5月24日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
5/20 (月)	3月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	10Y物価連動 2,500億円 5/21発行		
5/21 (火)		交付税借入 13,000億円 5/29借入		
5/22 (水)	3月の機械受注統計(内閣府 8:50) 4月の貿易統計(財務省 8:50)	40Y 7,000億円 5/23発行		4月の米中古住宅販売 4月の英消費者物価指数
5/23 (木)		交付税借入 13,000億円 5/31借入		4月の米新築一戸建て販売件数
5/24 (金)	4月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 58,000億円 5/27発行	流動性供給 6,000億円 5/27発行	4月の米耐久財新規受注

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/20 (月)	400	1,500	1,900	国債買入 国債補完 CP買入	30,500 ▲100	13,000	43,400	45,300	TB3M発行▲58,000償還58,000 TB1Y発行▲32,000償還34,100 エネルギー借入▲8,700期日8,400
5/21 (火)	1,000	▲2,500	▲1,500				0	▲1,500	10Y物価連動発行▲2,500
5/22 (水)	1,000	▲1,000	0				0	0	交付税借入▲13,000償還13,000
5/23 (木)	▲500	▲7,000	▲7,500				0	▲7,500	40Y発行▲7,000
5/24 (金)	▲1,000	1,000	0	社債買入		800	800	800	
週間合計	900	▲8,000	▲7,100	—	30,400	13,800	44,200	37,100	

5/20は日銀予想、5/21以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれ、レートは0.077~0.078%を中心に高値圏での推移が予想される。債券レポGC T/N物のレート水準は、特段大きなイベントが無いなか、0.000~0.095%程度のレンジで推移する事が予想される。短国市場は、24日(金)に3M物の入札実施が予定されている。また、短国買入オペは、引き続き需給状況によるが、オファーされるとすれば21日(火)に1,000億円程度での実施が予想される。CP市場は、特段大きなイベントが無いなか、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では22日(水)に3月の機械受注統計、24日(金)に4月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、23日(木)に4月の米新築一戸建て販売件数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入